

2022年(R4年)



No. 361

# ひとはつうしん

(字:水田淳世)



http://hitoha-fukushi.com (メールアドレス) honbu@hitoha-fukushi.com

社会福祉法人 ひとは福社会  
〒739-1203  
広島県安芸高田市向原町長田1857番地  
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

## 「新型コロナよけのまもりがみ、ライオンぞうだ!!」

色あざやかな季節がやってきました。毎日テレビに映される灰色の街を見るたびにバ  
が痛みます。みなさんお元気ですか。

「コロナ禍」という言葉を使うようになって2年。ひとは寮の松岡知哉さん、大好き  
な美術館へのお出かけも控え、みんなで楽しめる旅行もなくなり、息が詰まる毎日  
を送る中で考えました。

「日本や世界中で、新型コロナがいっぱいはやってる。コロナなんかもううんざりだ!  
僕が新型コロナよけのまもりがみを作る」

それから松岡さん、オリジナルの「ライオンぞう」を作り始めました。



ひとは寮で制作しています。

コロナ禍だからしょうがないよねとあきらめムードの私たちは、松岡さんの前向き  
なアクションに発奮させられました。今できること、やれることは考えればいっぱい  
あるはず。

工房では来月6月に、10年前からみんなで作ってきた『ひとはガーデン』の一般  
公開を計画しています。ブルーベリーが実るころには、たくさんの方々に来ていた  
だき、楽しんでもらっている光景を思い浮かべながら、彩のある毎日を送りたいと  
思います。

(ひとは工房 伊藤 千代子)

## あたらしい仲間がふえました

さら

名前 中山晴喜  
所属 ひとは工房  
好きな食べ物 刺身、ラーメン  
苦手な食べ物 特になし  
好きなこと  
ドライブに行くこと

名前 中尾元気  
所属 ひとは作業所  
好きな食べ物 揚げ物、煮物  
苦手な食べ物 炭酸  
好きなこと  
絵を描くこと

名前 川口智大  
所属 ひとは作業所  
好きな食べ物 カレー、牛肉  
苦手な食べ物 エビ  
好きなこと  
ひとはのキーボード

## 令和3年度 ひとは福社会後援会会計報告 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
会費 413名(法人含む)	1,721,799	ひとは福社会へ寄付	1,000,000
冊子収入	1,000	役員費(切手代、手数料)	449,368
リシ	1	事業部工賃(いきがい)	35,000
前期繰越金	93,906	事業部工賃(ひとは寮)	35,000
		事業部工賃(あつぷ)	35,000
		印刷代他	150,139
		小計	1,704,507
		当期繰越金	112,199
合計	1,816,706	合計	1,816,706

担当: 岡川

# 「男は黙って…」

西本邸の高伏さんは、「僕が絵を描けるのも親のおかげ」と言う優しい人です。毎日夕食準備の時、食器を出して並べたり、出来上がったおかずを配ったりしてくれて本当に助かっています。その時仕事先やテレビで観たり聞いたりした情報を話してくれます。先日もみんなの食器を洗いながら「ねえねえ、みてみて。男は黙ってするのが男と言われた。」と、黙っていられたのが高伏さん。そうじゃね。これからもよろしくね!

(ひとは長屋 中川和恵)

# 「一緒に寝ようね」

夜勤に入るときに増長さんがよく言う言葉です。増長さんは夜中に寝付けないと、部屋から何度も出入りして大きな声を出したり、トイレの備品を持ち出したりとイタズラをします。時には夜中に何回も何回も部屋の出入りがありました。

そこである日、増長さんの部屋で一緒に寝てみることにしました。「側にいますから。」と伝えると、トイレに行くとき以外は落ち着いて部屋で寝るように。本当は寂しくて誰か側にいると安心できるのかもしれませんが。

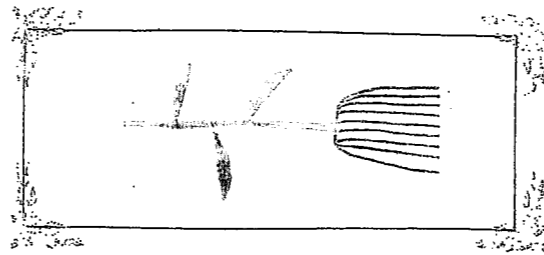
(共同ホーム 仲増雅宏)

# 「心はいつもやっかいで…」

集中したらピカイクで仕事をされるひとは農園の井上隆裕さん。「電車に乗って広島にSTUのコンサートを観に行きたい!」「携帯電話がほしい!」「ひとはガーデンに女子高生を招待したい!」など、たくさん希望が働く原動力となっています。しかし、すぐに叶うことばかりではないので、その思いと葛藤する日々。混乱することもしばしばあります。そんな時にぽつりと一言、「心はいつもやっかいで…」と。私には妙にじっくりと来ました。井上さんと同じように、やっかいな心と向き合っている日々です。

(ひとは工房 岡崎 梓)

# 語り継ぎたいこと — ころえ帖 改訂版 —



(絵: 14歳 葵)

自分はそっと誉め、  
きらは大っぴらに誉め

(卓: 松田夕貴)

地道という言葉があります。自分の信念に基づいて目指すべきものをコツコツと継続するという事です。最初から高く評価されることはないかもしれませんが、それでも自分の中では、「よし! よくやっただ」と納得しながら続けることができるのは、周囲の評価より自分自身の評価を実感できるからです。そんな時には、しっかりと自分で自分を誉めましょう。一方、きらはあなたの協力(支援)がなければなかなかそういう機会はありません。過去の経験の中でもプラスの評価を実感することは少なかつただろうと思います。きららの実践を確実に認め、集団の中でもしっかりと評価したいものです。

- 編み
- 集める
- 後
- 記

ひとはが好むった頃(37年前) 重広さんは給料の1万円(全額)を畳の下に入れておくとニヤリとした。さややかな日常とその子に、あずかしいことをわたりやすく「ひとはつうしん」は続いてきた。前情ではない共感の輪が「後援会」になり ひとはは交えられている。ニヤリとしたあの給料はその後? 彼の好物の「クリームソーダ」をさっと注文すれば! 「どう後おうかね?」と一緒に考えることも。一人暮らしをする彼は「心れた」とつぶやく。

若尾 順子